

# 令和7年度事業実施報告

公益社団法人栃木県産業資源循環協会は、産業廃棄物の適正処理や資源循環の促進、業界の社会的地位の向上等を図るため、次の事業を実施いたしましたので、ご報告いたします。

なお、令和7年12月1日、一般社団法人栃木県環境美化協会と事務委託契約を締結し、以降、当協会事務局として一般廃棄物関連の事業も実施しております。

## I 公益目的事業

### 1 適正処理推進事業

#### (1) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の普及啓発及び頒布

産業廃棄物の適正処理を推進するため、廃棄物処理法に基づく産業廃棄物管理票の普及啓発に努めるとともに、公益社団法人全国産業資源循環連合会及び建設六団体副産物対策協議会が作成した管理票等について、排出事業者及び産業廃棄物処理業者等への頒布拡大を図った。令和7年度は、産業廃棄物マニフェスト 91,000 セット、建設系廃棄物マニフェスト 181,400 セットを頒布した。

#### (2) 排出事業者、処理業者、県民等に対する産業廃棄物に関する相談・指導

排出事業者、処理業者及び県民等からの産業廃棄物に関する相談に対し指導・助言を行うとともに、排出事業者からの処理業者に関する問い合わせに対応し、適正処理を行う会員処理業者等の紹介を行うなど、約 3,800 件の適切な指導・助言を行った。

#### (3) 廃棄物処理アドバイザー事業

排出事業者の委託契約、マニフェストの運用、廃棄物処理法第 12 条第 7 項に定める処理状況の現地確認及び法に基づく各種手続きに際し、支援・助言を行った。(契約 11 件)

#### (4) 不法投棄・不適正処理防止対策の推進

栃木県と締結している「不法投棄等の情報提供に関する協定」に基づき、不法投棄等の監視を実施したが、令和7年度の通報案件はなかった。

#### (5) 災害廃棄物処理支援事業

栃木県と災害廃棄物等の処理応援協定を締結している 3 団体（公益社団法人栃木県産業資源循環協会、一般社団法人栃木県環境美化協会、栃木県環境整備事業協同組合）、栃木県及び県内各市町が連携し、水害を想定した災害廃棄物処理に係る支援要請伝達訓練を 3 回（県央・県南・県北）実施し、課題等を整理した。

【県央】令和7年8月28日（木）13：30～15：45

【県南】令和7年9月2日（火）9：30～11：45

【県北】令和7年9月2日（火）13：30～15：45

### 2 研修事業

#### (1) 産業廃棄物処理の適正処理等に係る実務者研修

##### ① 産業廃棄物処理業における実務者研修会

産業廃棄物の適正な処理の推進及び産業廃棄物処理業者の資質向上を図るため、制度改正の最

新動向や今後の施策の方向性、実務への影響等についての研修会を実施した。

日時：令和7年10月28日（火）13：30～16：00

場所：栃木県総合文化センター（宇都宮市）

参加者：47名（会員31名、非会員2名、行政14名）

内容：廃棄物処理業に係る最近の制度改正と今後の方向性

講師：BUN環境課題研修事務所 長岡 文明 氏

## ②産業廃棄物処理検定の試験対策研修会

産業廃棄物処理検定の合格を目的とした試験対策研修会を実施した。

日時：令和7年8月1日（金）10：00～16：00

場所：とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）

参加者：14名

内容：産業廃棄物処理の基礎、産業廃棄物の委託処理と委託契約、産業廃棄物管理票・帳簿等

講師：(公社)栃木県産業資源循環協会 常務理事兼事務局長 野中 寿一 氏

## (2) 産業廃棄物の減量化・再生利用等に関する研修

栃木県、宇都宮市、(公財)栃木県環境保全公社等との共催により、排出事業者及び産業廃棄物処理業者を対象として、廃棄物処理法の改正等に関する講習会を実施した。

### ①排出事業者における産業廃棄物の適正処理及び排出抑制に関する講習会

日時：令和7年11月28日（金）14：00～16：40

場所：宇都宮市南図書館（宇都宮市）

参加者：193名

内容：第1部 国の取組について

循環経済（サーキュラーエコノミー）政策の最前線

講師：環境省環境再生・資源循環局資源循環課

課長補佐 山田 浩司 氏

第2部 サーキュラーエコノミー移行に向けた動静脈連携の取組紹介

気泡緩衝材プチプチ®の資源循環について

講師：【製造業者】

川上産業株式会社 サステナブル推進部 部長 大橋 隆 氏

ラベル台紙の水平リサイクル事業「資源循環プロジェクト」

講師：【製造業・リサイクル事業者】

資源循環プロジェクト代表

日榮新化株式会社 資源循環事業部 部長 本池 高大 氏

### ②産業廃棄物処理業者における産業廃棄物適正処理講習会

日時：令和8年2月18日（水）14：00～16：00

場所：宇都宮市文化会館（宇都宮市）

参加者：112名

内容：サーキュラーエコノミーの実現に向けた静脈産業の役割期待

講師：TREホールディングス株式会社 経営企画本部 執行役員 副本部長

リバー株式会社 事業本部 事業統括部 執行役員 部長 山下 勇一郎 氏

(3) 労働安全衛生に関する研修会

産業廃棄物処理業における労働安全衛生の向上及び現場での労働災害の減少を図るため、法改正の背景や実務への影響について理解を深めるとともに、収集運搬業務及び中間処理業務における事故防止策や作業時の留意点等に関する研修会を実施した。

日時：令和8年2月17日（火）13：30～16：00

場所：栃木県教育会館（宇都宮市）

参加者：39名

内容：安全衛生の法改正への取組み方と収集運搬の安全対策

講師：二階堂労働安全コンサルタント事務所 二階堂 久 氏

(4) トップセミナー

産業廃棄物処理業を取り巻く環境の変化や社会的ニーズに対応するため、パワーハラスメント・セクシュアルハラスメント等の防止に向けた企業経営の在り方について、具体的な事例を交えた研修会を実施した。

日時：令和7年12月1日（月）13：30～15：30

場所：栃木県教育会館（宇都宮市）

参加者：39名

内容：コンプライアンスの実務 ～現代的経営のために～

講師：宇都宮中央法律事務所 弁護士 澤田 雄二 氏

宇都宮中央法律事務所 弁護士 益田 萌里 氏

(5) 反社会的勢力排除のための研修会

産業廃棄物処理業界への反社会的勢力の参入を阻止するため、暴力団や匿名流動型犯罪グループ等の動向及び特殊詐欺の発生状況、事例並びに対処方法についての研修会を実施した。

日時：令和7年9月5日（金）13：30～16：00

場所：栃木県総合文化センター（宇都宮市）

参加者：33名

内容：①反社会的勢力の現状と対策について

②反社会的勢力による不当要求対応要領について

講師：①栃木県警察本部 刑事部組織犯罪対策第一課 暴力排除係長 菊地 慎也 氏

②(公財)栃木県暴力追放県民センター 専務理事 白土 英智 氏

3 普及啓発・情報提供事業

(1) 産業廃棄物処理施設に係る県民の理解促進

栃木県、公益財団法人栃木県環境保全公社等と連携を図りながら、産業廃棄物処理施設の重要性及び安全性について正確な情報を発信するなど、処理施設に対する県民の理解促進を図るための事業を実施した。

○環境学習出前授業

青年部員が県内の小学校に出向き、海洋プラスチックごみ問題やごみ分別に関する学習の一環として、浦島太郎をモチーフとした寸劇「プラスチック郎」を上演した。あわせて、パ

ッカー車の仕組みや収集業務について実物を用いて説明するとともに、児童によるごみ投入体験を実施した。

開催日	場所
【第1回】令和7年7月8日（火）	小山市立間々田小学校
【第2回】令和7年9月9日（火）	那須塩原市立共英小学校
【第3回】令和7年10月17日（金）	宇都宮市立岡本小学校

○リサイクル施設等を見学してみよう！（リサイクル施設等見学コンシェルジュ事業）

リサイクル施設等を直接見学し、ごみ処理及びリサイクルについての理解を深めるための事業を実施した。

(2) 協会だよりの発行（令和7年4月号第157号～令和8年3月号第168号）

廃棄物行政情報や産業廃棄物処理業界の動向、協会の活動状況等を掲載した協会機関誌「協会だより」を毎月1回発行するとともに、ホームページにも掲載し、産業廃棄物行政及び協会事業に関する各種情報の提供を行った。

(3) ホームページの運営

排出事業者及び処理業者等に対し、産業廃棄物に関する最新の動向を迅速に発信するとともに、協会の事業活動に関する情報提供を行った。

4 栃木県環境保全緊急対策基金事業

栃木県環境保全緊急対策基金からの執行はなかった。なお、年度末における基金残高約78百万円は、足利銀行の決済用普通預金として保管している。

## II 共益事業等

1 組織強化事業

(1) 新規会員の加入促進による組織の強化

協会組織の充実強化を図るため、県内に事業所を有する未加入の許可業者に対し入会案内を送付するとともに、許可申請等に関する講習会や各種研修会等の機会を活用して加入を勧奨するなど、新規会員の加入促進に努めた。

◇会員の動向（令和8年3月31日現在）

会員種類	令和6年度	令和7年度	（令和7年度内訳）	
			新規加入	退会
正会員	199社	201社	9社	7社
賛助会員	22社	22社	1社	1社
合計	221社	223社	10社	8社

(2) 会員名簿の作成・配布

会員の最新の許可事項及び災害廃棄物処理に係る応援体制を取りまとめた名簿を作成し、会員、行政機関及び関係団体に配布した。

## 2 意識啓発向上事業

### (1) 表彰

産業廃棄物の適正処理に貢献し、県民の生活環境の保全に寄与した個人及び事業所の功労を讃え顕彰するため、当協会における各種表彰の実施並びに行政及び上部団体への推薦を行った。

①協会会長表彰	協会功労者	1名
	優良事業所	6事業所
	永年勤続者	6名
	優良従事者	12名
②公益社団法人全国産業資源循環連合会会長表彰	優良事業所	1事業所
	地方優良事業所	7事業所
	優良従事者	6名
③栃木県公衆衛生大会 知事表彰	保健衛生事業功労者	1名
	大会長表彰	保健衛生事業功労者 1名
④循環型社会形成推進功労者等大臣表彰	産業廃棄物関係事業功労者表彰	1名

### (2) 優良産業廃棄物処理施設等の視察研修

産業廃棄物処理施設に関する最新情報の収集を図るため、視察研修会を実施した。

日時：令和8年2月10日（火）

視察先：リバー株式会社 壬生事業所（下都賀郡壬生町）

参加者：34名

### (3) 行政等からの情報伝達

行政及び関係団体からの法改正や各種研修会の案内等について、ホームページや郵送等により最新情報を迅速に発信し、会員の資質向上及び適正処理の推進に努めるとともに、「メール配信サービス」を希望する者に対しては電子メールによる配信も併せて実施した。

### (4) 許可更新の通知

会員の産業廃棄物処理業許可の期限切れを防止するため、対象会員に対し許可更新の通知を行った。

## 3 他団体との交流・協力事業

### (1) 行政との意見交換会

産業廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進を図るため、協会員に行政への意見・要望をアンケートした結果を踏まえ、栃木県、宇都宮市の産業廃棄物行政の現状や課題等について、栃木県及び宇都宮市の担当課長、職員等と当協会理事による意見交換会を実施した。

日時：令和7年8月4日（月）10：00～11：00

場所：栃木県庁北別館（宇都宮市）

参加者：当協会9名、栃木県7名、宇都宮市5名

内容：意見・要望事項

①産業廃棄物処理業の許可更新に関する対応期間の明確化について

②使用済み活性炭の再生について

- ③栃木県資源循環推進計画について
- ④産業廃棄物施設に対する県民理解促進事業について
- ⑤産業廃棄物と一般廃棄物の区別の違いについて
- ⑥広域処理についての周知不足への対応について

(2) 排出事業者（団体）との意見交換会

喫緊の課題がないため、今年度は開催を見送った。

(3) 公益社団法人全国産業資源循環連合会等が実施する行事等への参加

公益社団法人全国産業資源循環連合会や栃木県等が実施する諸会議及び各種事業に積極的に参加し、産業廃棄物に関する諸課題等について相互理解を深めるとともに、情報の収集及び提供を行うなど、行政及び関係団体との連携を図った。

(4) 許可申請等に関する講習会

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターと連携し、「産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会（新規・更新）」及び「特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」の開催にあたり、栃木会場の運営を行った。

○栃木会場（会場：コンセーレ（宇都宮市））

開催日	課程	受講者数
令和7年7月2日	更新 収集運搬	125
	新規 収集運搬	130
令和7年7月3日	特別管理産業廃棄物管理責任者	128
令和7年10月1日	混合（新規及び更新処分）	46
	更新 収集運搬	97
令和8年1月28日	特別管理産業廃棄物管理責任者	146
	更新 収集運搬	90

4 栃木県環境保全対策基金事業

栃木県環境保全対策基金は、昭和63年から3ヵ年計画で造成を開始し、令和8年3月31日現在、受取利息を含め約470百万円を造成した。なお、基金は足利銀行の普通預金（決済用普通預金）及び国債等により管理している。

III 管理事業

1 総会・理事会等の開催

産業廃棄物処理業界の社会的地位の向上及び発展を図るため、次の会議等を通じて組織の活性化に努めた。

(1) 定時社員総会

令和7年5月22日、宇都宮市の宇都宮東武ホテルグランデにおいて、第14回定時社員総会を会員150名（委任状出席を含む）の参加により開催した。当日は、令和6年度事業報告及び決算の承認、役員を選任並びに役員の報酬等費用に関する規程の一部改定について審議

し、いずれも満場異議なく原案どおり承認・可決された。

(2) 理事会

年6回開催し、総会で議決した事業計画に基づく事項等の執行について審議し、決定した。

(3) 三役会

年6回開催し、理事会で審議する事項等について協議を行った。

(4) 委員会及び部会

産業廃棄物の適正処理の推進及び産業廃棄物処理業の社会的地位の確立を図るため、産業廃棄物処理に関する動向や諸課題を把握するとともに、事業展開の方向性や情報共有等について検討を行った。

- ・適正処理・調査研究委員会
- ・研修委員会
- ・普及啓発・情報委員会
- ・相談指導委員会
- ・建設廃棄物部会

(5) 役員候補者推薦委員会

来年度の第15回定時社員総会における任期満了に伴う役員改選に際し、役員候補者の選考及び推薦を行うため、令和8年1月23日及び令和8年2月18日の2回にわたり会議を開催し、役員候補者原案を作成した。

(6) 交流会

令和8年1月23日、宇都宮市の宇都宮東武ホテルグランデにおいて、会員相互の交流親睦及び情報交換を図るため、協会員、栃木県及び宇都宮市の環境行政関係者、議会議員並びに関係団体等132名の参加を得て、賀詞交歓会を実施した。

(7) その他

① 栃木県日光杉並木街道保護基金への寄附

日光杉並木街道の保護のため、設置者である栃木県に対し、10万円の寄附を行った。